

- 参加人数 317人 (DMAT230、DMAT 以外 87)
- 模擬患者数 68人
- コントローラー数 39人
(コントローラー27、指定プレーヤー7、コントローラー一件指定プレーヤー5)

・ 参加車両、航空機

- 病院緊急車両 4台
- ドクターヘリ 0台
- 消防機関救急車 3台
- 消防機関その他車両 1台
- 航空機、ヘリコプター 1機 (所属 鳥取県消防防災ヘリコプター)

・ 訓練想定

11月13日午後5時00分、鳥取県東部の鹿野・吉岡断層及び鳥取県西部の西部地震断層による連動型地震が発生(マグニチュード7.2、7.3)。鳥取市の一部で震度7、鳥取市のその他の地区(鳥取市鹿野町等)及び鳥取県東部地域各町において広範囲に震度6強、6弱を観測。また、鳥取市、湯梨浜町、北栄町等の一部で地盤の液状化が発生している。また、日野町、伯耆町及び南部町を中心に震度6強、その他鳥取県西部地域各町において震度5強以上を観測。また、米子市の一部、境港市等で地盤の液状化が発生している。なお、県内全域において火災は発生していない。

これら各地で家屋や建築物が倒壊し、要救助者が多数発生したため、鳥取県は鳥取DMATを派遣要請するとともに、中国地方各県(島根県、岡山県、広島県及び山口県)にDMAT派遣を要請する。

仮想鳥取県庁に仮想県災害対策本部を、仮想県災害対策本部の下に医療救護対策本部を、また、各二次保健医療圏の保健所に医療救護対策支部を設置し、被害情報・医療ニーズの情報等を収集し、災害医療情報を関係機関に提供し、それに基づき各DMATは各活動拠点にて活動を行う。また、SCU(広域搬送拠点臨時医療施設)を設置し、傷病者の地域医療搬送を行う。

・ 実施項目 (実施した訓練にチェックしてください)

- 参集訓練
- 現場活動(救護所)
- 現場活動(救助現場・CSM)
- 病院支援
- 域内搬送
- SCU
- 広域医療搬送機内活動
- 本部(調整本部)
- 本部(活動拠点本部)

- 本部（SCU本部） ■
- 本部（域外拠点本部） □
- EMIS ■
- その他（①病院避難、②SCUの全ての電源をHONDAの燃料電池車から供給、③本来の県医療本部・DMAT県調整本部の設置場所が被災して使用できなくなったと想定し、別の場所での設置運営を訓練。）

・ 訓練参加者リスト（別添1）

・ 参考資料：以下のものがあれば、ご登録ください。

- 訓練時系列
- 患者設定一覧
- 写真

DMA Tブロック訓練登録フォーム

- ・ 目的
来たるべき災害への対応能力の向上のためにDMA Tの組織運用を検証
DMA Tの参集とニーズに応じた配分
活動拠点本部等の所属先及び指揮命令系統の確認等を重視した訓練
- ・ 日時
平成 27 年 11 月 28 日 (土) 8:30~16:00
- ・ 場所・会場 (県下 12 会場)
(1)災害医療対策部及びDMA T愛媛県調整本部の設置・運営訓練 (1箇所)
➢愛媛県庁内会議室
(2)参集拠点の設置・運営訓練 (3箇所)
➢石鎚山ハイウェイオアシス館、県立中央病院、市立宇和島病院
(3)活動拠点本部の設置・運営訓練 (4箇所)
➢県立新居浜病院、県立中央病院 (再掲)、市立宇和島病院 (再掲)、
松山空港SCU
(4)病院等支援 (6箇所)
➢松山市民病院、救護所 (松山市医師会館)、避難所 (県立医療技術大学)
ほか
- ・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数
➢ 参加機関 21 機関 (DMA T病院: 15 病院、松山市医師会、松山市消防局、伊予消防等事務組合消防本部、松山市民病院、県立医療技術大学の学生サークル「医技タット」(避難所運営)、砥部町)
➢ 参加人数 113 人
➢ 模擬患者数 0人
➢ コントローラー数 18 人
- ・ 参加車両、航空機
➢ 病院緊急車両 0台
➢ ドクターヘリ 0台
➢ 消防機関救急車 2台
➢ 消防機関その他車両 0台
➢ 航空機、ヘリコプター 0機
- ・ 訓練想定
平成 27 年 11 月 28 日 (土) 午前 8 時 30 分に伊予灘を震源とするM8.0 の地震が発生し、愛媛県全域で多数の傷病者が発生したことから、国が、松山空

港を広域医療搬送拠点（SCU）として、愛媛県内傷病者の広域医療搬送を行うことを決定し、県が設置

・ 実施項目（実施した訓練にチェックしてください）

- 参集訓練
- 現場活動（救護所）
- 現場活動（救助現場・CSM）
- 病院支援
- 域内搬送
- SCU
- 広域医療搬送機内活動
- 本部（調整本部）
- 本部（活動拠点本部）
- 本部（SCU本部）
- 本部（域外拠点本部）
- EMIS
- その他（救護所、避難所支援）

・ 訓練参加者リスト（別添1）

・ 参考資料：以下のものがあれば、ご登録ください。

- 訓練時系列
- 患者設定一覧
- 写真

DMATブロック訓練登録フォーム

- ・ 目的 平成27年度九州・沖縄ブロックDMAT実働訓練
- ・ 日時 平成27年11月7日(土)～8日(日)
- ・ 場所・会場 大分県庁(大分市)、佐伯市総合運動公園(佐伯市)、大分スポーツ公園(大分市)ほか
- ・ 参加機関等、人数、模擬患者数、コントローラー人数
 - 参加機関 86機関(DMAT病院76、訓練協力病院4、日本産業医療ガス協会(酸素配送)、広島大学病院(衛星通信車)、モバイルクリエイト(IP通信)、インフォコム(画像伝送)、東京電機大学EMIST(後方支援)、全日本ヘリコプター協議会(被害調査))
 - 参加人数 389人(日本DMAT、地域DMAT)
 - 模擬患者数 283人(発災現場141人(緊消隊)、広域防災拠点142人)
 - コントローラー 29人
- ・ 参加車両、航空機
 - 病院緊急車両 40台
 - ドクターヘリ 1台(大分県ドクヘリ)
 - 消防機関救急車 42台(緊消隊訓練)
 - 消防機関その他車両 146台(緊消隊訓練)
 - 航空機、ヘリコプター 3機(宮崎県防災ヘリ、陸自ヘリ、全日本ヘリ協議会)
- ・ 訓練想定
南海トラフ地震
- ・ 実施項目 (実施した訓練にチェックしてください)
 - 参集訓練
 - 現場活動(救護所)
 - 現場活動(救助現場・CSM)
 - 病院支援

- 域内搬送
- SCU
- 広域医療搬送機内活動
- 本部（調整本部）
- 本部（活動拠点本部）
- 本部（SCU本部）
- 本部（域外拠点本部）
- EMIS
- その他（医療ガス調達訓練、通信支援訓練、上空からの被害調査訓練）

・ 訓練参加者リスト（別添1）

・ 参考資料：以下のものがあれば、ご登録ください。

- 訓練時系列
- 患者設定一覧
- 写真

別添、検証会議資料一式をご参照ください

DMATロジスティックチーム隊員の養成・維持・活用

資料2

活動：
指揮支援と
ロジスティクス

- 活動場所：DMAT本部
- 業務：指揮支援

- 活動場所：DMAT本部、広域搬送拠点、高速道路施設
- 業務：ロジスティクス

派遣要請：
通常の
DMATと同様

派遣要請：

- 厚生労働省・DMAT事務局は被災地域の都道府県と調整のうえ、都道府県等に対してDMATロジスティックチーム隊員の派遣を要請

費用支弁：

- 派遣に要した費用は、原則として、DMAT等を派遣したDMAT指定医療機関と都道府県との事前の協定に基づいて支弁

養成・維持：
DMAT
ロジスティクス
チーム隊員
養成研修

DMATロジスティクスチーム隊員養成研修の実施：

- 主な対象者：DMATインストラクター、タクス等
- 研修の実施方針：
 - ・ 対象者はDMAT活動要領を知悉。
 - ・ 継続参加により、知識・練度を高める訓練のイメージ。

理論習熟編：

- 机上演習を中心とする内容
- 年1回、立川で開催

応用編：

- ケーススタディ及び過去の被災地等の視察
- 年1回、地方で開催

岩手県広域防災拠点における 災害時医療活動支援体制等の整備について

平成28年2月29日
岩手県総務部総合防災室 細川 徹

地震の概要

発生日時：平成23年3月11日 14時46分頃
震源：三陸沖（北緯38.1度、東経142.9度）
規模：マグニチュード9.0
本震の最大震度：6弱（大船渡市、釜石市、一関市など）
津波：3月11日14時49分 大津波警報発表



被害の概要

被害の区分		被害	備考
人的被害※1	死者数	4,672人	
	行方不明者数	1,124人	
家屋被害※1	全・半壊	26,168棟	
産業被害	農林業被害	984億円	農地・農業用施設639億円、農業施設29億円等 林業施設221億円、森林60億円等
	水産業・漁港被害	5,649億円	漁港4,527億円、漁船338億円、 水産施設等289億円等
	商工業被害	1,335億円	
	観光業（宿泊施設）被害	326億円	津波による流出・浸水被害の推定額であり、 地震による被害は含めていない。
	計	8,294億円	
公共土木施設被害	河川・海岸・道路等施設被害	2,031億円	海岸696億円、道路183億円、河川1956億円、 下水道139億円等 (注) 2市1町4箇所（金定見込み額78億円） で、おれき処理の都合により、査定未了...
	公園施設被害	7億円	
	港湾関係施設被害	442億円	
	計	2,479億円	

※1 平成27年12月31日現在
※2 各項目の計は、総数処理のため、合計値と一致しない場合がある。

東日本大震災時の 後方支援拠点としての遠野市の活動

- ・大槌町、釜石市、大船渡市に車で1時間ほどの距離
- ・平成19年度に沿岸地域の7市町と協議会を設立し「後方支援拠点施設整備推進協議会」を策定
- ・臨時ヘリポートや後方支援棟として活用できる運動公園を整備したほか、防災訓練等を実施

盛岡市 遠野市 大槌町 釜石市 大船渡市

平時から備えてきたことで
発災時に効果的に機能

運動公園を臨時ヘリポートとして活用
平成23年3月15日

臨時支援棟として活用
平成23年3月15日

【写真 遠野市提供】

東日本大震災時の 花巻空港でのDMATの活動

平成22年度の県総合防災訓練において、花巻空港を会場に、広域医療搬送訓練を実施(8/29)していた。

訓練を実施していたことでイメージが共有でき、また、反省点等が、東日本大震災時の対応に活かした！！

東日本大震災を踏まえた 岩手県広域防災拠点の整備①

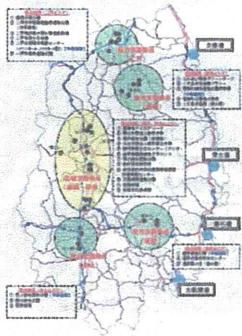
東日本大震災津波への対応を踏まえた課題

- ① 「物資の備蓄・支援」
⇒ アピオを物資集積拠点として位置付け
- ② 「後方支援体制」
⇒ 震災時の遠野市のような後方支援拠点の必要性

東日本大震災津波の対応検証を踏まえ、
広域的な大規模災害に対応可能な防災拠点を整備する必要

東日本大震災を踏まえた 岩手県広域防災拠点の整備②

【広域防災拠点の配置イメージ】(第2章)



- ▶ **広域支援拠点・盛岡・花巻地区**
効率性や物理的な制約から県内全域で発生する大規模災害に対応する「人・もの・情報」に関する機能を有する拠点
 - ▶ **後方支援拠点：二戸・葛巻・北上・遠野地区**
被災地により近い場所で被災地支援を担うために、前進基地として、被災地で活動する「人・物・情報」に関する機能を有する拠点
- これまで個々に対応していた施設等も含め、「広域防災拠点」として明確に位置付け

・自衛隊・消防・警察等の活動拠点、ヘースキャンブ
・支援物資等の集積・搬送拠点
・飲料水・食料等の必需品の備蓄
・DMAT活動拠点 などの機能を各施設に付与

岩手県広域防災拠点について 【広域支援拠点】



「広域支援拠点」は盛岡市、滝沢市、雫石町、矢巾町及び花巻市に12施設配置

広域支援拠点の機能
物資の受入・分配機能
支援部隊の現場活動支援機能
平常時における物資・資機材の備蓄機能
ヘリコプター基地機能
情報収集伝達機能

岩手県広域防災拠点について 【広域支援拠点のうち医療関係拠点】

▶ 矢巾町(2施設)

- ◆ 岩手医科大学災害時地域医療支援教育センター
(現場活動の支援部隊の要員交替・宿泊機能[DMAT])
(DMAT等の一時滞在、派遣等、医療資機材・設備の確保・提供、負傷者の受入、応急処置等の機能)
- ◆ 岩手県消防学校
(DMAT等の一時滞在、派遣等、医療資機材・設備の確保・提供、負傷者の受入、応急処置等の機能)



岩手県広域防災拠点について 【広域支援拠点のうち医療関係拠点】

▶ 花巻市(2施設)

- ◆ 花巻市交流会館
現場活動の支援部隊の要員交替・宿泊機能[DMAT]
- ◆ 花巻空港
・旧花巻空港建設事務所 現場活動の支援部隊の要員交替・宿泊機能[DMAT]
・消防車庫 DMAT等の一時滞在、派遣等、医療資機材・設備の確保・提供、負傷者の受入、応急処置等の機能
・除雪車庫 支援物資の搬入・荷捌き、被災地への配分、一時保管機能[空輸物資]
・常設ヘリポート ヘリコプターの整備、燃料補給機能[全ての支援部隊・広域医療搬送]
※ 花巻空港について、冬期間は車庫の利用ができないこと等の制約があることから、現在関係機関で代替の使用場所等について調整中



岩手県広域防災拠点の今後について

- ▶ 県としては、DMATを始めとする支援部隊等が、効率的・効果的に活動できるように「枠組み」を作ったところ。
- ▶ 今後この枠組みをどのように活用し、将来の大災害に対応していくか、県・関係機関が連携し、訓練等により熟度を高めていく必要があると考えているところ。

ご清聴ありがとうございました



2016 希望郷 いわて国体

第71回国民体育大会 広げよう 感動。伝えよう 感謝。

大震災の緊急物資輸送とその教訓

— 「岩手方式」から得たこと —

公益社団法人 岩手県トラック協会

専務理事 佐藤 耕造

防波堤を超える津波：宮古市



全国から支援物資が集められた岩手産業文化センター(アビオ)



全国から支援物資が集められた岩手産業文化センター(アビオ)



東日本大震災時に「岩手方式」と言われる救援物資の荷受け・仕分け搬出の一括管理を、過去に無い作業方法を考案したことで、国・業界から評価されました。

この方式は、最初からあったものではなく、マニュアルの無い中で“走りながら実施した結果”が、後に『岩手方式』と名称が付いたものです。

